

小浜市におけるハンセン病回復者とのふるさと交流の歴史

- 1931年（昭和6年） 「癩予防法」成立。強制隔離・強制入所
1953年（昭和28年） 「らい予防法」成立。偏見・差別をより一層助長

1970年（昭和45年） 「ハンセン病回復者との里帰りを進める会（代表 北岑氏）」が福井県ではじめて民間活動で里帰りを実現

1990年（平成2年10月）

邑久光明園へ福井県内社協職員有志（里帰りを進める会 北岑氏、小浜市社協職員 豊永氏ら）が訪問。福井県人入所者の竹村栄一氏（小浜市出身）と吉田藤作氏との出会いがきっかけとなり、小浜市社協とハンセン病回復者との今後の長い交流が始まる。竹村氏は、お墓参りに人知れず帰省され、社協との交流を深めていく。



1995年（平成7年） 福井県ハンセン病回復者里帰り事業が始まる。以降、小浜市社協は同事業に協力・協働していく。

1996年（平成8年） 「らい予防法」廃止

1997年（平成9年）

小浜市社協30周年記念事業「ハンセン病をテーマとした映画「愛する」を鑑賞。この時に募った寄付金の申し出を邑久光明園福井県人会に伝えると、「お金より桜の咲くころに園に来てもらえると嬉しい。」

1998年（平成10年4月）

邑久光明園への訪問の参加を募り、市民団で訪問交流。
「ハンセン病回復者との交流を深める会」結成（2000年2月）につながる。



1999年（平成11年3月）

社協がコーディネートをして、小浜第二中学校が修学旅行で国立療養所 多摩全生園（東京）を訪問。

6月 買物ボランティア20周年記念事業 邑久光明園訪問



2000年（平成12年2月）

- ◇「ハンセン病回復者との交流を深める会」結成
- ◇竹村栄一氏が60年の歳月を経て同級生・恩師との再会を果たす。

◇竹村栄一氏講演「ハンセン病の歴史に学ぶ」
場所：小浜第二中学校、若狭高等看護学院

写真（右から2人目）
竹村氏



2001年（平成13年5月） らい予防法違憲国家賠償訴訟原告勝訴＜熊本地裁判決＞
国は控訴断念。

6月 竹村栄一氏（光明園福井県人会長）里帰り「らい予防法違憲国家賠償訴訟勝訴報告会」

- 11月 竹村栄一氏からの寄付申出を受け、ハンセン病の理解啓発のために同氏の手記「生きていま」の劇化に着手。
また、翌年3月に同氏より訪問入浴介護車両1台を受贈。



2002年（平成14年）

- 1月 「生きていま」舞台関係者（出演者・舞台裏）の公募（50人）
脚本：岡村昌二郎氏、地元アマチュア劇団「久須夜」の協力
- 2月 出演者オーディション
- 3月 上演関係者による「ハンセン病研修会」
講演「昭和45年の里帰り運動を振り返って」 里帰りをすすめる会代表 北岑武夫氏
- 4月 上演関係者による邑久光明園訪問
- 7月 小浜市社会福祉協議会創立35周年記念事業
ハンセン劇「生きていま」上演



母・妹との別れ



療養所で断種を条件に結婚を



60年の歳月を経て故郷の小浜に



「生きる勇気がわいてきた。」

2003年（平成15年1月） 竹村栄一氏 永眠

- 10月 ◇ハンセン病人権フォーラム（県主催）で「ハンセン病と闘った竹村栄一の軌跡」パネル展示
◇回復者里帰り事業（福井県主催）
- 12月 「生きていま」出演の高校生の呼びかけで
若狭高校生を中心に邑久光明園、長島愛生園を訪問交流



2004年（平成16年4月）

昨年12月に訪問した若狭高校生の再訪問の願いを受けて邑久光明園・長島愛生園を訪問。長島愛生園 福井県人会長 高瀬重二郎氏と交流



- 6月 高瀬重二郎氏里帰り交流



- 9月 故竹村栄一氏の遺志を支援するため、ミャンマー「竹村栄一記念中学校」建設募金実行委員会を設置。若狭高校学校祭で3年5組が、ハンセン病をテーマにクラス発表・ミャンマー竹村栄一記念中学校建設募金活動

2005年（平成17年1月）

ミャンマーナダマイン村「竹村栄一記念中学校校舎」落成式に、邑久光明園ほか支援関係者（小浜市社協職員、高校生含む）11人が出席



写真左（中央は小浜市協職員の豊永氏）

3月 若狭高校・若狭東高校生が邑久光明園・長島愛生園を訪問交流
「おじいちゃん、おばあちゃんに進路報告と後輩たちにつないでいきたい」



6月 高瀬重二郎氏里帰り事業
◇若狭東高校人権講演会「ふるさと若狭で語りたい～私の人生～」
講師 長島愛生園福井県人会長・全国ハンセン病療養所入所者協議会元会長 高瀬重二郎氏
◇同校内でハンセンパネル展



9月 高瀬重二郎氏里帰り交流事業 交流ある高校生が放生祭りを案内

写真左（右から2人目が高瀬氏、左から2人目が回復者との交流を深める会会長）



10月 小浜市婦人福祉協議会（小浜市社協支援）が邑久光明園と長島愛生園を訪問交流
講義・入所者との交流・施設見学

写真左（光明園園長の講義）
写真右（高瀬重二郎氏の案内で資料館を見学）



11月 高瀬重二郎氏（元全国ハンセン病療養所入所者協議会会長）が若狭東高校内に交流記念の桜を植樹。「人権桜」と命名。

高瀬氏「ハンセン病を正しく理解するには若者の情熱と行動力しかない。この木を心の支えとして残された余生を啓発活動にささげます。やがて大樹に成長した時には、人権回復・自由・平等の花がいっぱいに咲くことを願う。」

生徒代表「人権桜と名付けられたこの木は、長島愛生園とふるさと若狭をつなぐ一本の木です。高瀬さんの帰ってこられる場所として大切に育てていきます。」



12月 ハンセン病回復者と交流してきた元高校生による宮川小学校での人権学習会
・ハンセン病回復者との交流事業について
・マンマーでの「竹村栄一記念中学校校舎」落成式の訪問報告



2006年（平成18年4月） 高瀬重二郎氏が県立若狭東高校を訪問

高瀬氏が記念植樹した「人権桜」を見るとともに、放送部が「NHK 杯全国高校放送コンテスト福井県大会／アナウンス部門出場に向けて同氏を取材し、ハンセン病をテーマに番組制作。結果、6月の県大会で優秀賞となり全国大会に出場。

12月 高瀬重二郎氏の帰郷（高浜町での講演）にあわせて地元関係者が交流

2007年（平成19年6月） 高瀬重二郎氏が若狭東高校JRCおよび地元関係者と交流



7月 若狭東高校 JRC、同校地理歴史研究会が長島愛生園（高瀬重二郎氏）を訪問

9月 高瀬重二郎氏（長島愛生園自治会長）から、「ハンセン病問題基本法制定等の国会請願署名運動」協力の依頼を受ける

10月 若狭東高校学校祭で JRC・地理歴史研究会が長島愛生園の訪問交流をパネル展示



11月 高瀬重二郎氏の帰郷（高浜町での講演）にあわせて地元関係者が交流



写真（若狭東高 人権桜の前で）左から4、1日が高瀬氏

12月 高瀬重二郎氏（長島愛生園自治会長）へ「ハンセン病問題基本法制定等の国会請願署名運動」署名（小浜市社協・関係団体1870名）を送る。

2008年（平成20年4月） 高瀬重二郎氏と地元関係者が交流

10月 高瀬重二郎氏（長島愛生園自治会長・人権桜植樹者）による人権講演会 若狭東高校 人権桜の前で



2009年（平成21年3月） 国立療養所「長島愛生園」「邑久光明園」を高校生・市民で訪問交流



同年（平成21年4月）ハンセン病問題基本法施行

- ◆正しい知識の普及
- ◆社会復帰・社会生活の支援
- ◆療養所での生活・医療の保障・地域への開放

7月 若狭東高校放送部制作「桜に込めた思い」がNHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門優良賞受賞 上映時間8分 内容 高瀬重二郎さんとの交流を通して。

◇ハンセン病療養所の看護師を目指した若者が「長島愛生園」「邑久光明園」を訪問（社協同行）



10月 福井県里帰り事業 小浜市で交流

11月 若狭東高校で高瀬重二郎氏を招いて「桜に込めた思い」上映会



2010年（平成22年3月）国立療養所「長島愛生園」「邑久光明園」を高校生・市民が訪問交流



8月 国立療養所「邑久光明園」「長島愛生園」を中学生・高校生・市民が訪問交流



11月 福井県里帰り事業 小浜市で交流（若狭東高校）

2011年（平成23年3月）国立療養所「邑久光明園」「長島愛生園」を中学生・高校生・市民が訪問交流



5月 若狭東高校放送部が小学校でハンセン病を通じた出前授業
放送部制作のオリジナル紙芝居「桜に込めた思い」を発表。この紙芝居は、ハンセン病回復者の高瀬重二郎氏が若狭東高校に記念植樹し、名付けた「人権桜」が高瀬さんの半生を語る。ふるさとの高校生と出会い、孫のように親しく交流を重ねていくストーリー。



◇ 国立療養所「長島愛生園」を小浜市民生委員協議会連合会が訪問交流

10月 福井県里帰り事業 小浜市で交流（若狭東高校・小浜第二中学校）

2012年（平成24年3月）国立療養所「邑久光明園」・「長島愛生園」を高等看護学院生・中学生・高校生・が訪問交流



10月 福井県里帰り事業 小浜市で交流（若狭東高校）

2013年（平成25年3月）国立療養所「邑久光明園」を高等看護学院生・高校生・中学生が訪問交流



10月 福井県里帰り事業 小浜市で交流（若狭東高校・若狭高校）



2014年（平成26年3月）国立療養所「邑久光明園」を高等看護学院生・高校生・中学生・市民（ボランティアグループ）が訪問交流



11月 福井県里帰り事業（若狭東高校・若狭高校・小浜第二中学校）



2015年（平成27年3月）国立療養所「邑久光明園」を高等看護学院生・高校生・中学生・市民が訪問交流



10月 福井県里帰り事業（若狭東高校）



2016年（平成28年3月）国立療養所「邑久光明園」を高等看護学院生・高校生・中学生・市民が訪問交流



5月 福井県里帰り事業（若狭東高校）



2017年（平成29年6月）福井県里帰り事業（若狭東高校）



7月 国立療養所「邑久光明園」を小浜市社協役員、市民が訪問交流



11月 ハンセン病回復者との交流を深める会代表者が小学校で授業



12月 若狭東高校放送部が小学校で授業。ハンセン病理解啓発の紙芝居「桜にこめた想い」を上演
この紙芝居は同校放送部が2011年に制作



2018年（平成30年5月）福井県里帰り事業（若狭東高校で小学生を交えて）



5月 高瀬重二郎氏 永眠

8月 国立療養所「邑久光明園」を若狭東高校放送部、市民（ボランティアグループ）、小浜市社協役職員が訪問交流



同年 邑久長島大橋「人間回復の橋」架橋30周年

国立療養所「邑久光明園」と「長島愛生園」がある岡山県瀬戸内市の長島と本土を結ぶ橋。島と本土を隔てる海峡はわずか30メートル。入所者の長年の運動により架橋が実現。



2019年（令和元年6月）福井県里帰り事業（若狭東高校）



8月 国立療養所「邑久光明園」を若狭東高校放送部、市民（ボランティアグループ）、小浜市社協役職員が訪問交流



2020年 新型コロナウイルス感染症拡大（コロナ禍）

福井県里帰り事業が中止となり帰郷・交流が叶わず。

9月 若狭東高校放送部が、国立療養所「邑久光明園」福井県人会へ自作のビデオレターを送る。

11月 小浜市社協による国立療養所「邑久光明園」福井県人会とオンライン交流
若狭東高校放送部ほか交流関係者（市民）が参加

「(園の) みなさん、お元気ですか。

お会いできる日を楽しみにしています。」



2021年 ハンセン病回復者との交流30周年記念事業 <小浜市制施行70周年記念助成>

人権桜の記念碑設置・アーカイブ事業 ~交流の歴史と学びを未来の人づくりに~

2月 記念事業実行委員会を発足。小浜市制施行70周年記念助成を受けて事業を進める。

- (1) 若狭東高校校庭に植樹(2005年)された桜(「人権桜」と命名)の記念碑の制作・設置
- (2) 同校校庭内に国立療養所 邑久光明園入所者福井県人会の記念植樹と記念標の設置
- (3) 国立療養所 邑久光明園に記念碑の設置と記念植樹



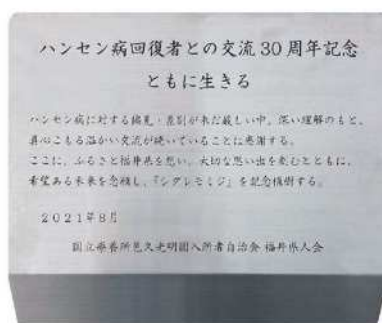
(1)



(2)



(3)



※ 次以降に拡大写真を掲載

- (4) 交流の歴史・歩みのウェブサイトを社協ホームページ内に開設(刷新)するとともに記念標にQRコードを表示し、当サイトへのアクセスを簡便化。



9月 (5) 記念式典(記念碑披露式)の開催

【日時】 令和3年9月28日

【会場】 若狭東高校・邑久光明園<オンライン中継>



(6) 学び

ア. 出前授業「ハンセン病に学ぶ」

【日時・場所】 令和3年5月21日・若狭東高校

講師：社協職員、受講：関係部活(同校放送部・書道部)

イ. 福井県人権パネル展に出展「ハンセン病を通して・交流30年の歴史から」

【期間・会場】

令和3年6月2日~6月8日 福井県立図書館

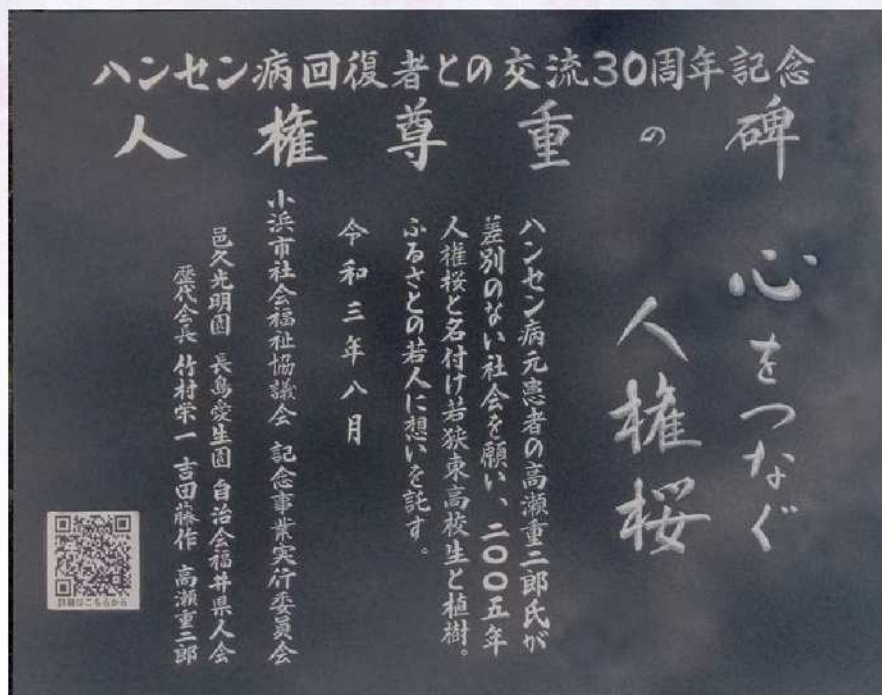
~

サン・サンホーム小浜

9月17日~10月6日(学校祭) 若狭東高校



人権桜記念碑

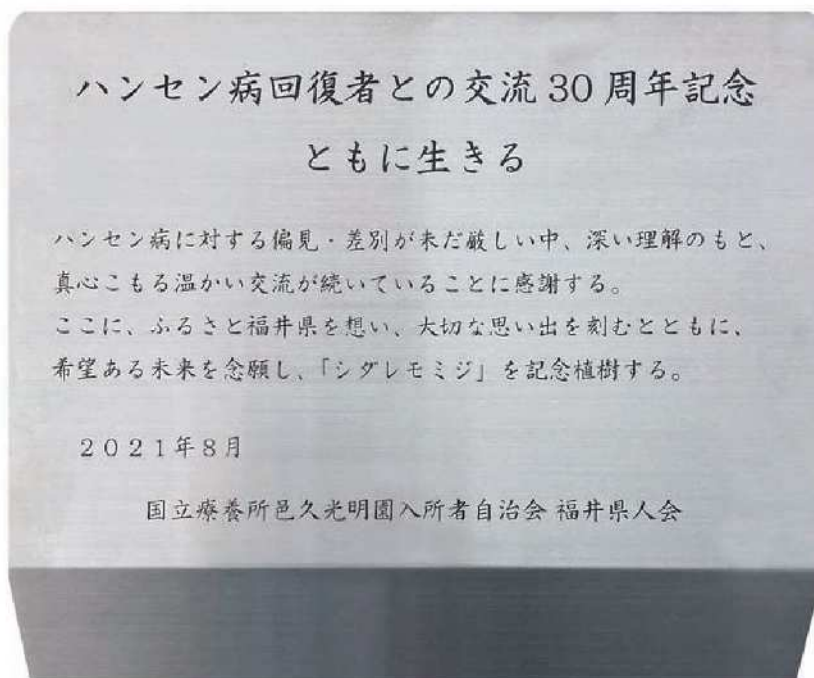


(正面)



(側面)

記念植樹の標



邑久光明園の記念碑

人権尊重 差別のない社会に

この碑とイロハモミジは、光明園入所者（回復者）の福井県出身者と同県小浜市社会福祉協議会が行う民間活動「ふるさと交流」の30周年を記念して設置・植樹する。



光明園資料展示室前で



人権桜

1990年、小浜市出身者（園県人会）との出会いをきっかけに始まったこの市民草の根活動の交流は、若狭の若人に継がれ、福井県立若狭東高等学校が、里帰りの拠点となっている。同校庭には、2005年に植えられた「人権桜」が年々大きく育ち、立派な花びらが咲き誇っている。故郷を結ぶこの碑は、若狭小浜への望郷の標であり、人権啓発・誓願の碑である。

小浜市社会福祉協議会 交流記念事業実行委員会

国立療養所邑久光明園 入所者自治会 福井県人会

2021年8月



詳細はこちら

(碑文)

人権尊重 差別のない社会に

この碑とイロハモミジは、光明園入所者（回復者）の福井県出身者と同県小浜市社会福祉協議会が行う民間活動「ふるさと交流」の30周年を記念して設置・植樹する。

1990年、小浜市出身者（園県人会）との出会いをきっかけに始まったこの市民草の根活動の交流は、若狭の若人に継がれ、福井県立若狭東高等学校が、里帰りの拠点となっている。

同校庭には、2005年に植えられた「人権桜」が年々大きく育ち、立派な花びらが咲き誇っている。

故郷を結ぶこの碑は、若狭小浜への望郷の標であり、人権啓発・誓願の碑である。

小浜市社会福祉協議会 交流記念事業実行委員会

国立療養所邑久光明園 入所者自治会 福井県人会

2021年8月

2023年

5月 若狭東高校放送部がNHK杯全国高校放送コンテスト応募作品の制作のため邑久光明園を訪問（小浜市社協が支援・協力）。交流、親交を深めている福井県出身者や同園自治会長をオンラインを含め取材する。

〈大会結果〉

第70回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会（2023.7.24～27）

ラジオドキュメント部門 作品名「見えないバリア」 優秀賞（全国5位相当）

6月 福井県里帰り事業（若狭東高校）

